

[演題名、筆頭演者氏名、共著者氏名、所属機関名]

医療機関ハンドブックの制作を通して、地域の「かかりつけ医」が果たしている機能を見える化する
～かかりつけ医の在宅医療参入を医師会として支援する～

湯浅孝史, 近藤唯宇, 川越正平, 沼沢祥行, 松澤亮

松戸市在宅医療・介護連携支援センター

[抄録本文]

【目的】「医療機関ハンドブック」の分析を通し、医師会として「かかりつけ医機能」向上に資する活動、主治医機能の見える化を試みた。

【方法】2017年版「かかりつけ医医療機関ハンドブック」を、専門医編、病院編を加え改訂した。234の医師会会員医療機関を調査し、154医療機関から回答を得た(回答率65.8%)。①複数疾患を有する患者の包括的診療、②認知機能障害を併発した患者の診療継続、③通院困難な患者への在宅医療提供、④在宅患者への24時間対応等包括的診療、⑤(悪性腫瘍)終末期患者への在宅緩和ケア提供、の5つの「かかりつけ医機能」に着目して分析した。7

【結果】

かかりつけ医に掲載した診療所101件のうち、在宅医療に取り組む診療所が51件(うち、在宅療養支援診療所28件)であった。98%が内科を標榜し、地域包括診療料4疾病の療養について、高血圧100%、糖尿病100%、脂質異常症94.1%、認知症68.6%が担当していた。がん56.9%、神経難病25.5%であった。認知症、がん、神経難病の全てに対応する診療所は8件15.7%あり、その他の疾患に対する診療も広範囲に提供していた。在宅医療について、臨時往診39.2%、24時間対応45.1%、自院患者の訪問診療47.1%、他院患者の訪問診療紹介受入31.4%であった。これら4項目に積極的に対応する診療所は14件27.4%であった。在宅医療に取り組む診療所は5つの「かかりつけ医機能」を満たす傾向があった。

【考察】かかりつけ医は、患者ががん、認知症等になっても、主治医として診療責任を継続し、通院困難となった場合には、在宅医療の提供、(悪性腫瘍)終末期の診療、24時間対応の体制整備に努める必要があると考える。医師会として、認知症やがん緩和、在宅医療に関する教育介入、24時間対応等の負担軽減のための連携体制構築を支援し、在宅医療新規参入の障壁を低める取り組みが必要であると考えます。

(COI:)なし

医療機関ハンドブックの制作を通して、地域の「かかりつけ医」が果たしている機能を見える化する ～かかりつけ医の在宅医療参入を医師会として支援する～

松戸市在宅医療・介護連携支援センター 湯浅孝史, 松澤亮, 近藤唯宇, 沼沢祥行, 川越正平

松戸医師会
医療機関
ハンドブック



📍H...明第1地区 / I...常盤平地区

H-13 診療所 〒271-0074 松戸市 TEL. 

内 | 在宅

【担当している患者さんの主な状態】
 高血圧 糖尿病 脂質異常症 脳卒中後遺症 心疾患 がん
 肺炎腫・喘息 胃腸の病気 肝疾患 慢性腎臓病 神経難病
 腰痛・関節症 うつ・不眠 小児 更年期 認知症
 その他()

【院長からのメッセージ】 松戸市の南部を中心に、訪問診療に力を入れて診療しています。当院の医師・看護師の他、地域の医療や介護に関わる方々とチームを組み、病気だけではなく生活面にも配慮するスタンスで、患者さんと家族を支援しています。

【診療以外の活動】 総合内科専門医、東京医科歯科大学臨床教授、松戸市地域ケア会議会長、まっちこプロジェクト講師

臨時往診	<input type="checkbox"/>	24時間対応	<input type="checkbox"/>
訪問診療(自院)	<input type="checkbox"/>	訪問診療(紹介)	<input type="checkbox"/>

【訪問診療で対応可能な状態・管理等】

<input checked="" type="checkbox"/> 脳血管疾患	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症
<input checked="" type="checkbox"/> 整形外科疾患	<input checked="" type="checkbox"/> 内部臓器障害
<input checked="" type="checkbox"/> 悪性腫瘍	<input checked="" type="checkbox"/> 神経難病
<input checked="" type="checkbox"/> 医療的ケア児	<input checked="" type="checkbox"/> 精神疾患合併
<input checked="" type="checkbox"/> 胃ろう管理	<input checked="" type="checkbox"/> 中心静脈栄養管理
<input checked="" type="checkbox"/> 気管切開管理	<input checked="" type="checkbox"/> 人工呼吸管理

H-14 医院 〒271-0074 松戸市 TEL. 

内 | 胃 | 外 | 整外 | 皮 | 在宅

【担当している患者さんの主な状態】
 高血圧 糖尿病 脂質異常症 脳卒中後遺症 心疾患 がん
 肺炎腫・喘息 胃腸の病気 肝疾患 慢性腎臓病 神経難病
 腰痛・関節症 うつ・不眠 小児 更年期 認知症
 その他(禁煙外来)

【院長からのメッセージ】 皆様に少しでもお役に立てる様に診療しています。心配事、気になる事がある際は、御遠慮なく受診、御相談頂けると幸いです。これからも街のかかりつけ医として頑張りますので、宜しく御願い致します。

【診療以外の活動】 学校医、産業医、地域ケア会議委員、まっちこプロジェクト講師

臨時往診	<input type="checkbox"/>	24時間対応	<input type="checkbox"/>
訪問診療(自院)	<input type="checkbox"/>	訪問診療(紹介)	<input type="checkbox"/>

【訪問診療で対応可能な状態・管理等】

<input checked="" type="checkbox"/> 脳血管疾患	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症
<input type="checkbox"/> 整形外科疾患	<input checked="" type="checkbox"/> 内部臓器障害
<input checked="" type="checkbox"/> 悪性腫瘍	<input type="checkbox"/> 神経難病
<input type="checkbox"/> 医療的ケア児	<input type="checkbox"/> 精神疾患合併
<input checked="" type="checkbox"/> 胃ろう管理	<input checked="" type="checkbox"/> 中心静脈栄養管理
<input type="checkbox"/> 気管切開管理	<input type="checkbox"/> 人工呼吸管理

I-01 診療所 〒270-2261 松戸市 TEL. 

内 | 在宅

【担当している患者さんの主な状態】
 高血圧 糖尿病 脂質異常症 脳卒中後遺症 心疾患 がん
 肺炎腫・喘息 胃腸の病気 肝疾患 慢性腎臓病 神経難病
 腰痛・関節症 うつ・不眠 小児 更年期 認知症
 その他()

【院長からのメッセージ】 (Text partially obscured)

【診療以外の活動】 (Text partially obscured)

臨時往診	<input type="checkbox"/>	24時間対応	<input type="checkbox"/>
訪問診療(自院)	<input type="checkbox"/>	訪問診療(紹介)	<input type="checkbox"/>

【訪問診療で対応可能な状態・管理等】

<input checked="" type="checkbox"/> 脳血管疾患	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症
---	---

+

かかりつけ医

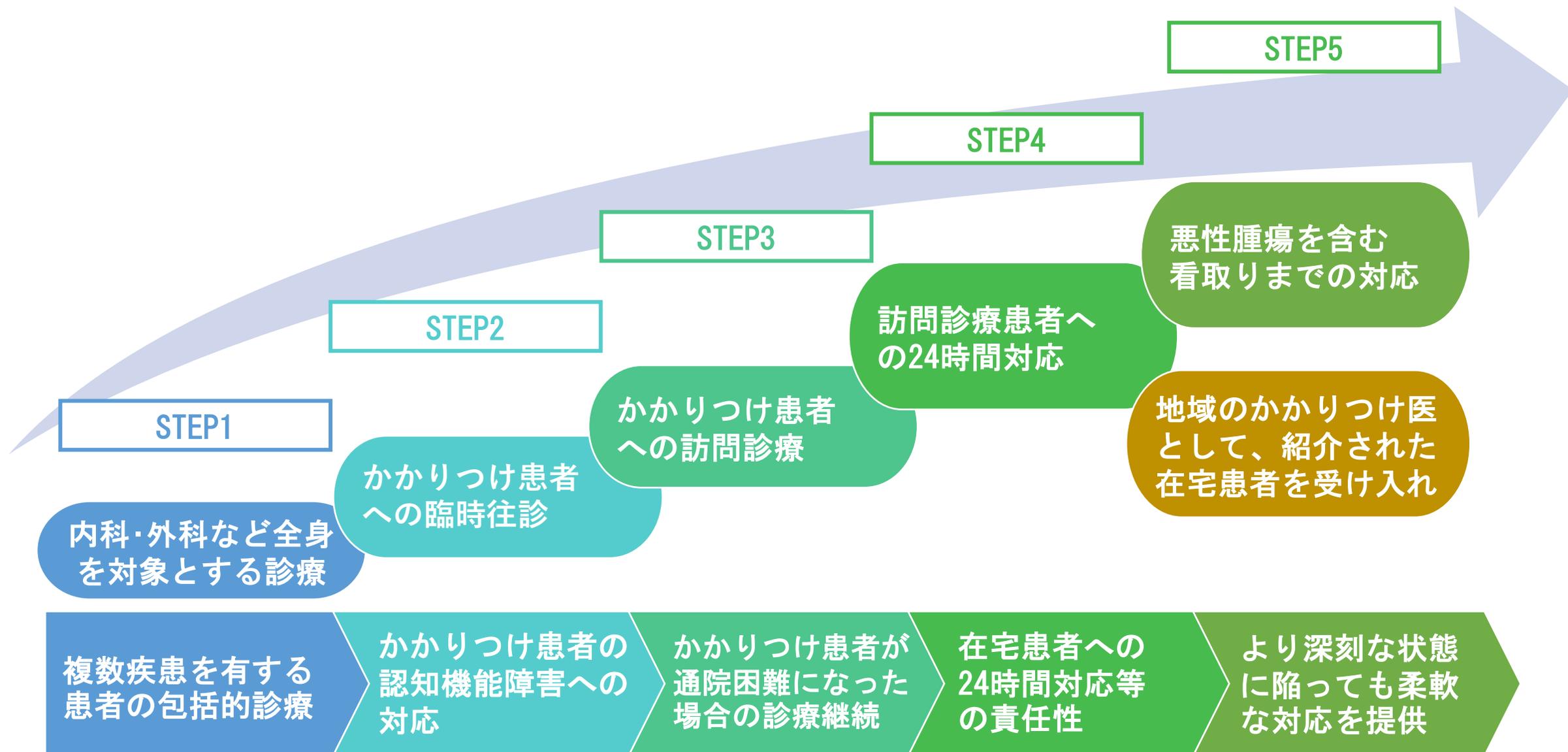
+

専門医

+

病院

私たちが考える「かかりつけ医の5つの機能」について分析した



「かかりつけ医の5つの機能」の調査方法

複数疾患を有する患者の包括的診療

- ・かかりつけ医が外来診療で担当している患者の状態のうち、地域包括診療料の4疾病である高血圧、糖尿病、脂質異常症について分析

認知機能障害を併発した患者の診療継続

- ・かかりつけ医が外来診療で担当している患者の状態のうち、地域包括診療料の4疾病及び、訪問診療として対応が可能な疾患のうち認知症について分析

かかりつけ患者が通院困難になった場合の継続診療

在宅患者への24時間対応等の責任性

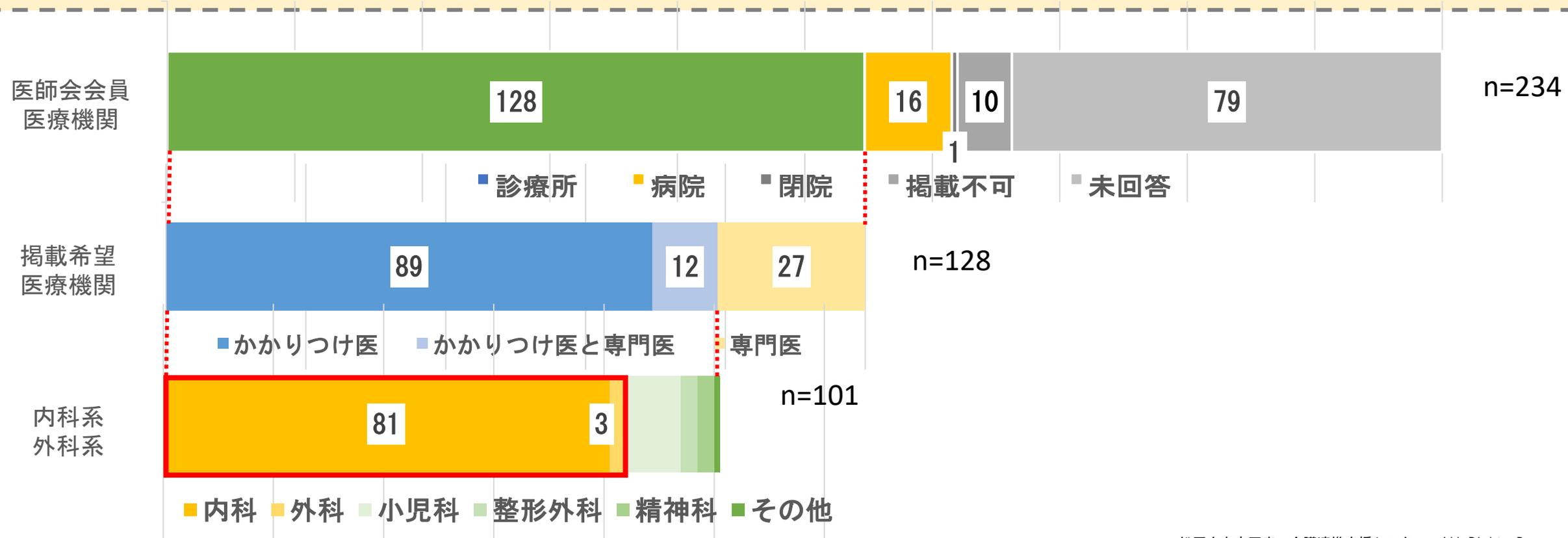
- ・在宅医療の取り組み、訪問診療で担当する患者の状態について分析

終末期等により深刻な患者への対応

- ・2021年3月松戸市医師会在宅医療に関する調査結果に基づく

「かかりつけ医医療機関ハンドブック」を改訂すべく234の医師会会員医療機関を調査

- ◎2017年版「かかりつけ医医療機関ハンドブック」を、専門医編、病院編を加え2020年版として改訂。
- ◎診療所215件のうち128件64.6%、病院19件のうち16件84.2%が回答。回収率66.2%。
- ◎診療所128件のうち、かかりつけ医欄への掲載希望は89件、かかりつけ医、専門医の両方の欄に掲載希望は12件、専門医欄への掲載希望は27件。
- ◎かかりつけ医欄に掲載を希望した101件のうち、内科、外科を標榜する84件を基に、地域の「かかりつけ医」が果たしている機能を調査。



かかりつけ医が外来診療で担当している患者の状態の集計

※当てはまるものすべてに☑をつけて下さい。特に力を入れている臨床領域にはアンダーライン記入。
 高血圧 糖尿病 脂質異常症 脳卒中後遺症 心疾患 肺気腫・喘息 胃腸の病気 肝疾患
 認知症 慢性腎臓病 腰痛・関節症 うつ・不眠 小児 更年期 がん 認知症 神経難病

地図上の番号です

0-00

その医療機関の診療科目です。略語の対応表をご参照ください。

診療所

在支援(在宅療養支援診療所/病院)とは住み慣れた地域で安心して療養生活を送ることができるよう24時間体制で往診または訪問看護の提供が可能な医療機関です。

〒000-0000 松戸市○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
 TEL.047-000-0000 FAX.047-000-0000



【担当している患者さんの主な状態】

■高血圧 ■糖尿病 ■脂質異常症 ■脳卒中後遺症 ■心疾患 ■がん
■肺気腫・喘息 ■胃腸の病気 ■肝疾患 ■慢性腎臓病 ■神経難病
■腰痛・関節症 ■うつ・不眠 ■小児 ■更年期 ■認知症
 その他()

【院長からのメッセージ】 松戸市の南部を中心に、訪問診療に力を入れて診療しています。当院の医師・看護師の他、地域の医療や介護に関わる方々とチームを組み、病気だけではなく生活面にも配慮するスタンスで、患者さんと家族を支援しています。

【診療以外の活動】 総合内科専門医、東京医科歯科大学臨床教授、松戸市地域ケア会議会長、まっごプロジェクト講師

臨時往診	◎ 24時間対応	◎
訪問診療(自院)	◎ 訪問診療(紹介)	◎

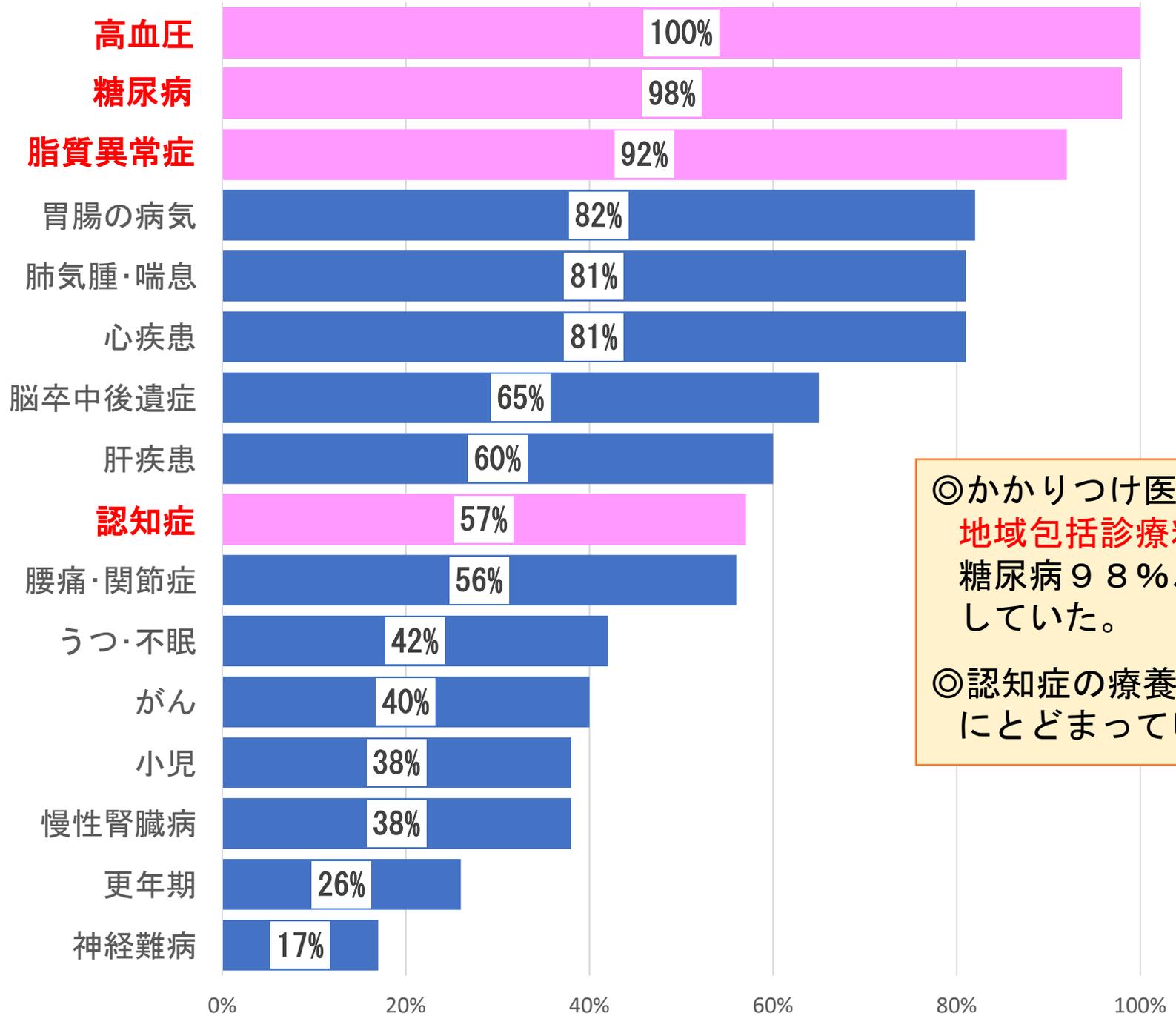
【訪問診療で対応可能な状態・管理等】

■脳血管疾患
 ■整形外科疾患
 ■悪性腫瘍
■医療的ケア児
 ■胃ろう管理
 ■気管切開管理

■認知症
 ■内部臓器障害
 ■神経難病
 ■精神疾患合併
 ■中心静脈栄養管理
 ■人工呼吸管理

■はこの医療機関に通院されている患者さん方の主な病気です。太字は特に力を入れている領域です。

◎積極的に対応しています。
 ○相談により対応可能です。
 △対応できない場合があります。

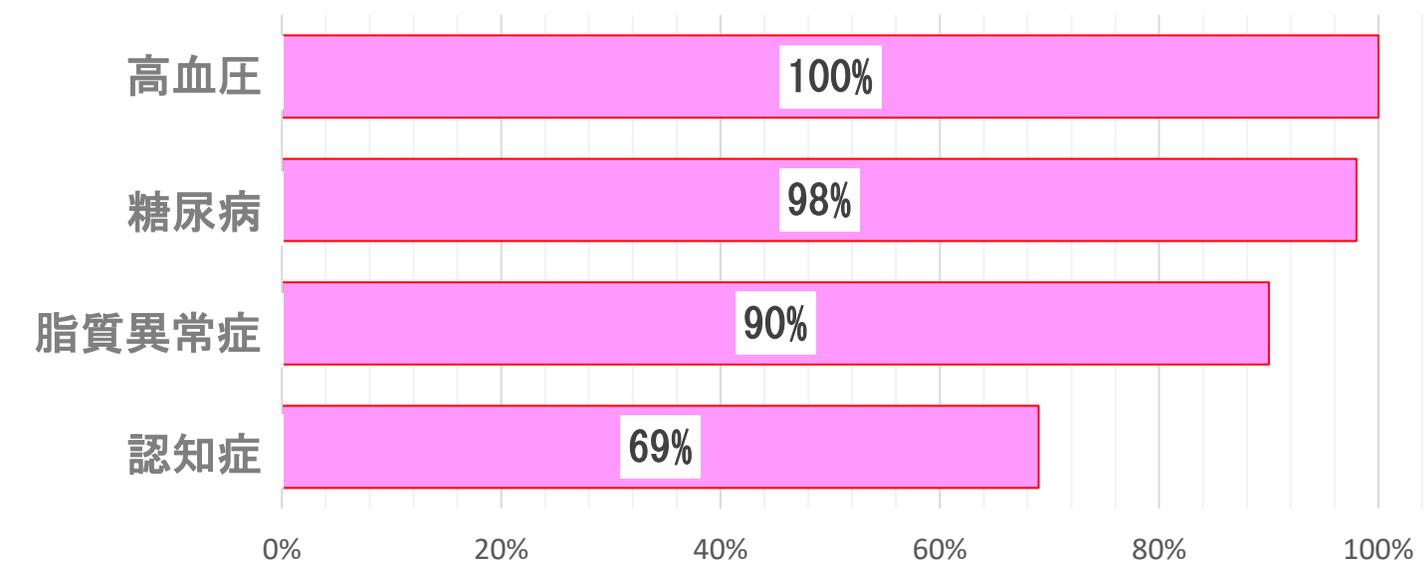
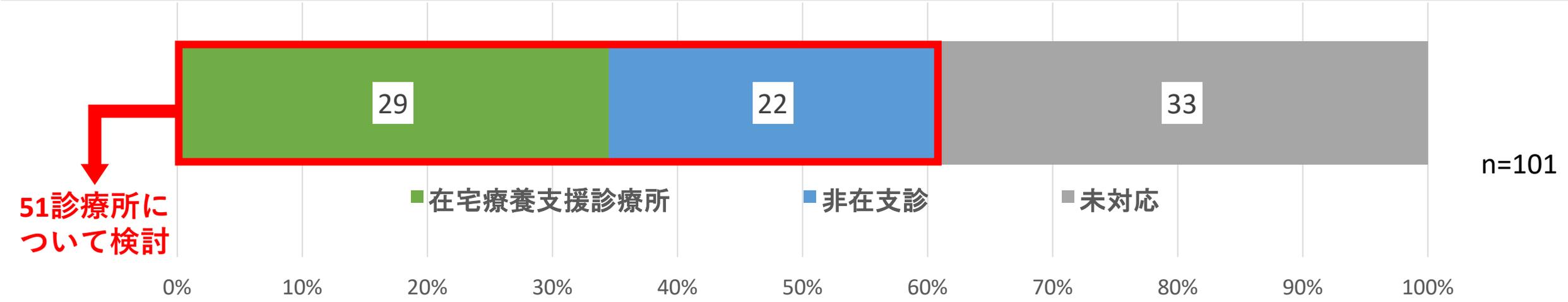


◎かかりつけ医欄に掲載を希望した診療所は、**地域包括診療料4疾病**において、高血圧100%、糖尿病98%、脂質異常症92%が療養を担当していた。

◎認知症の療養を担当している診療所は**57%**にとどまっていた。

かかりつけ医の在宅医療実施状況の集計

調査対象のかかりつけ医 84 件の内、在宅療養支援診療所は 29 件であった。何らかの形で在宅医療を実施している診療所は 22 件、在宅医療未対応の診療所は 33 件であった。

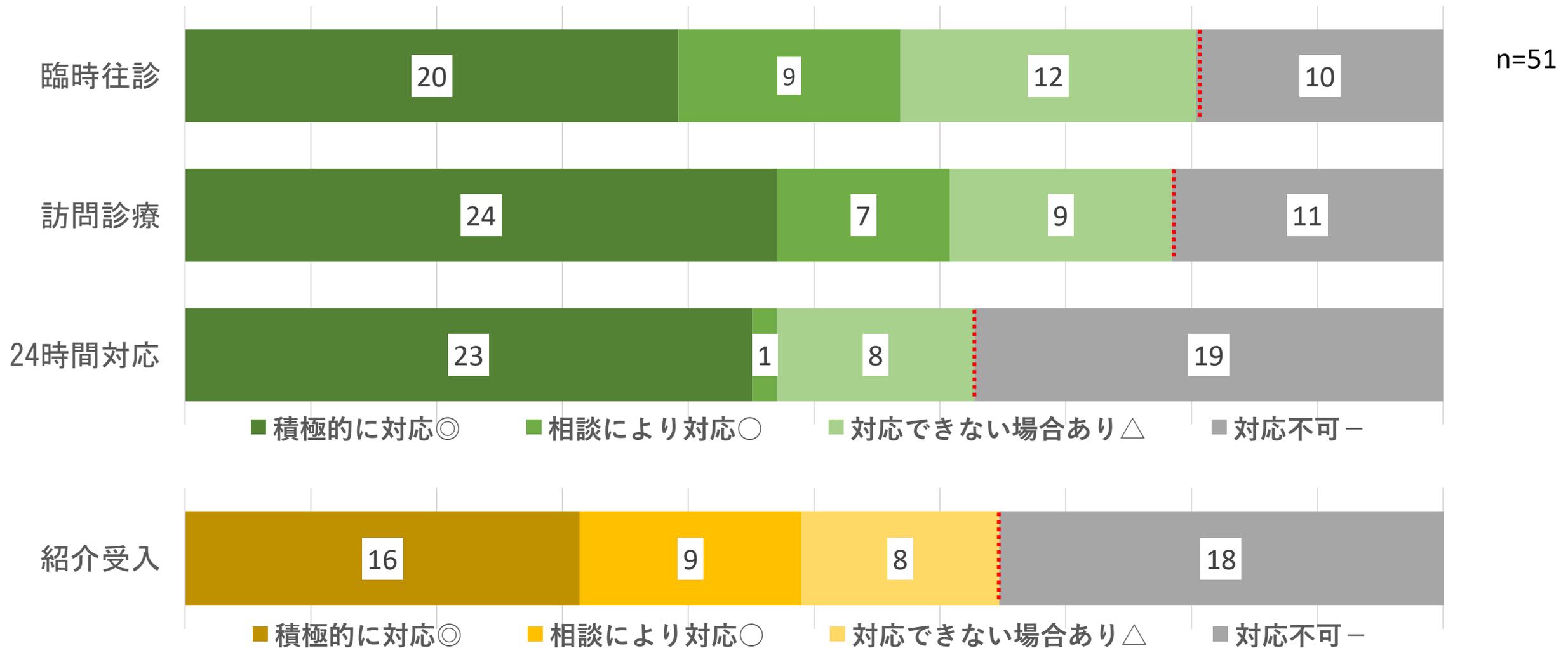


◎在宅医療を実施する診療所は、**地域包括診療料4疾病**において、高血圧100%、糖尿病98%、脂質異常症90%の診療を担当していた。

◎在宅医療を実施する診療所は**69%**が認知症の支援を担当していた。

かかりつけ医の在宅医療の取り組みに関して

◎在宅医療を実施する51診療所において、臨時往診対応80.3%、通院困難患者への訪問診療提供78.4%、24時間対応を実施62.7%、他院からの訪問診療紹介受入64.7%であった。

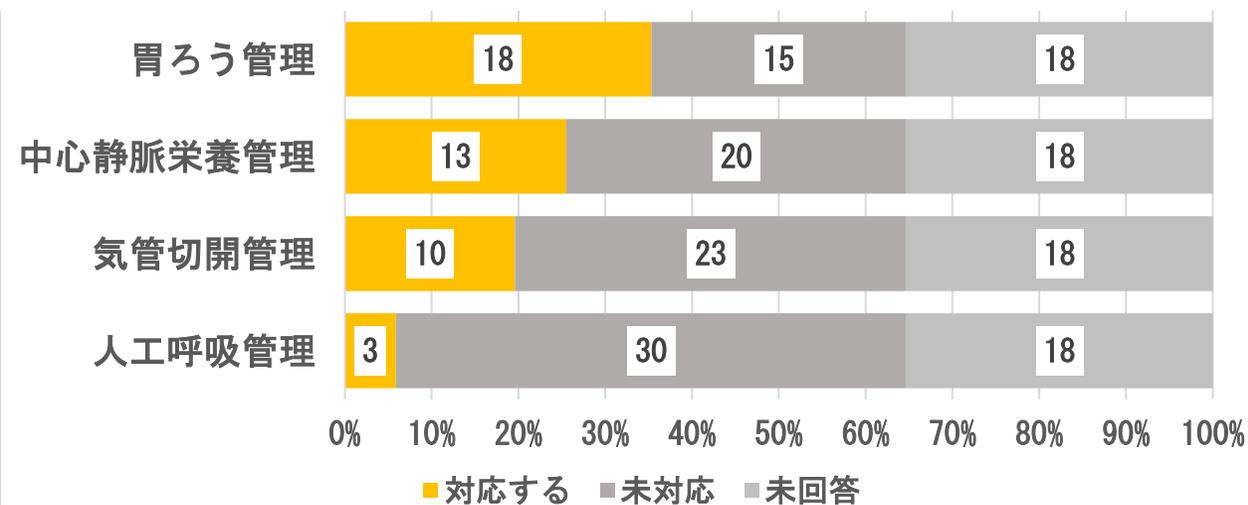
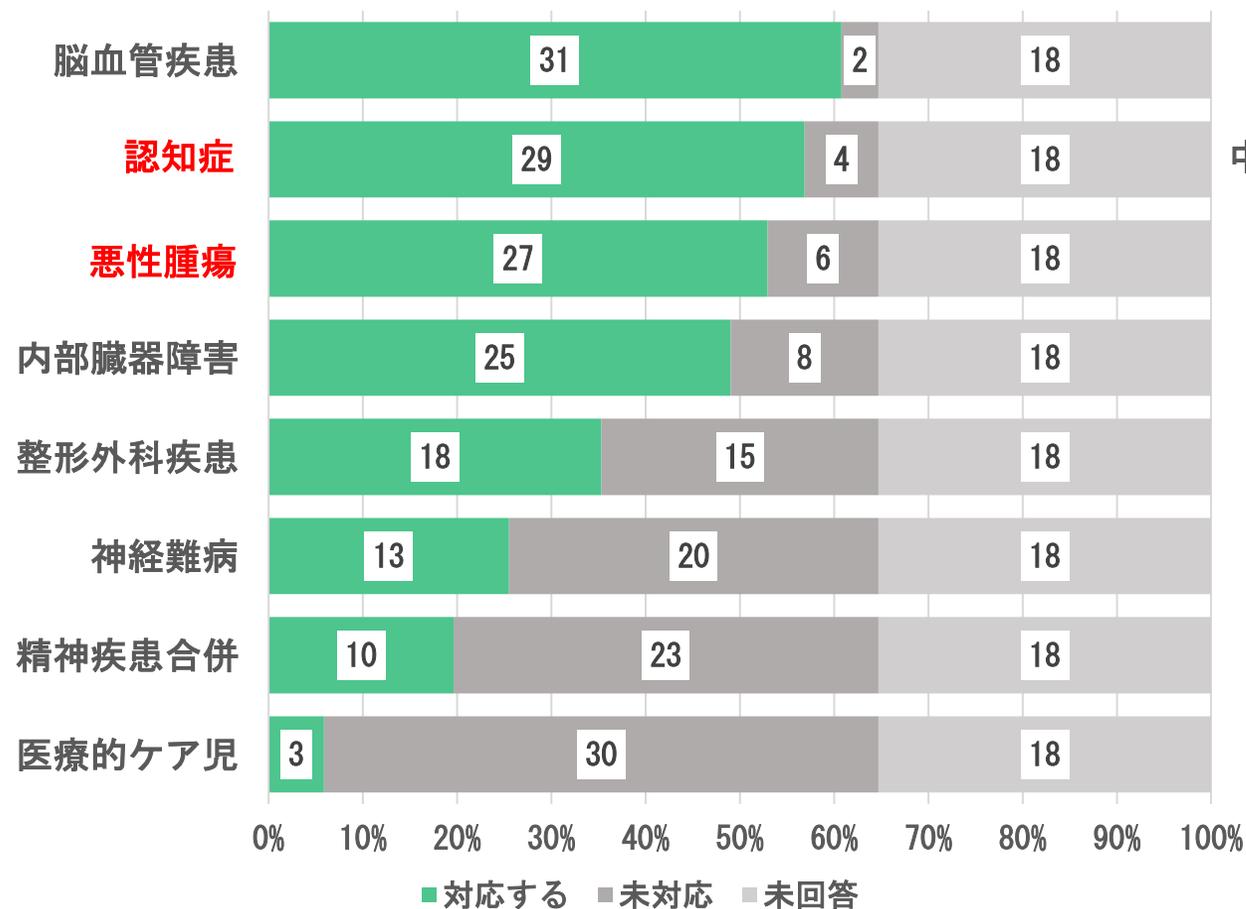


訪問診療として対応が可能な疾患や状態、管理等について

※当てはまるものすべてに☑をつけて下さい。

- 脳血管疾患
 認知症
 老衰
 整形外科疾患
 内部臓器障害
 悪性腫瘍末期
 神経難病
精神疾患合併
 医療的ケア児
 胃ろう管理
 中心静脈栄養管理
 気管切開管理
 人工呼吸管理

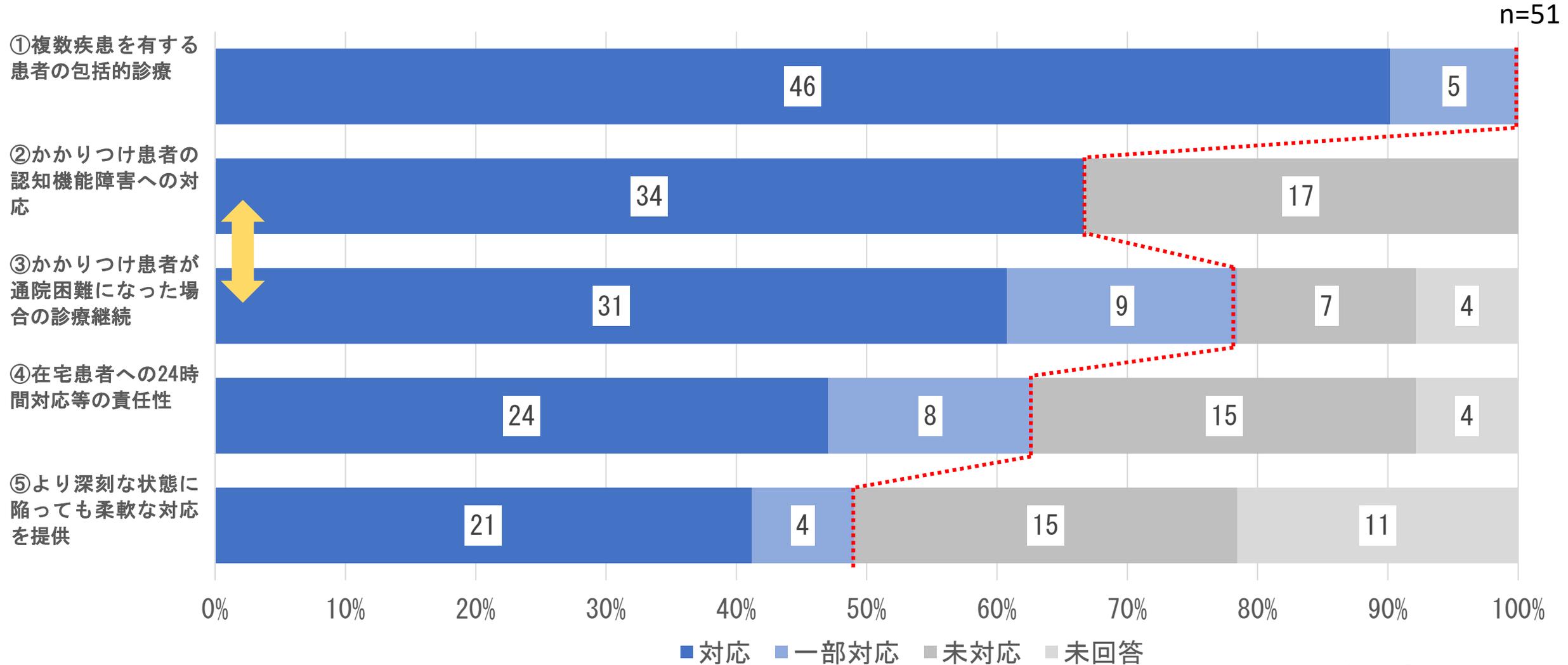
◎在宅医療を実施する51診療所においては、かかりつけ医の5つの機能のうち、**認知症**、**悪性腫瘍**の療養を両方とも担当すると回答した診療所は27件であった。



n=51

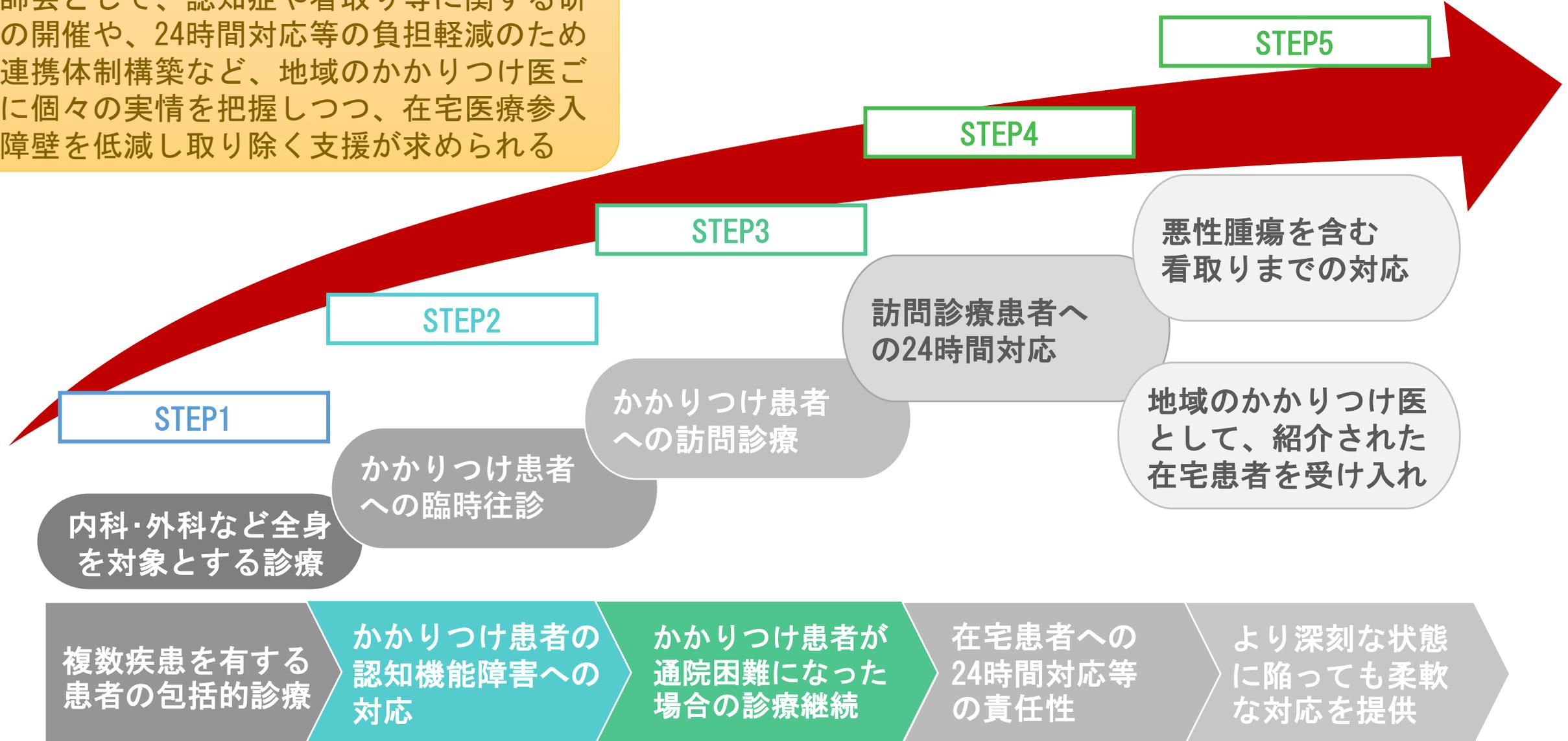
考察

- ◎かかりつけ医の機能のステップが上がるにつれ、困難を感じ、対応できる診療所が減少する。
- ◎仮定したかかりつけ医機能のステップは、分析の結果、「かかりつけ患者の認知機能障害への対応」よりも「通院が困難になった場合の継続診療」に取り組む診療所が多いことが分かった。



考察：「かかりつけ医の5つの機能」の段階を考慮した参入支援に取り組む

医師会として、認知症や看取り等に関する研修の開催や、24時間対応等の負担軽減のための連携体制構築など、地域のかかりつけ医ごとに個々の実情を把握しつつ、在宅医療参入の障壁を低減し取り除く支援が求められる



第3回日本在宅医療連合学会大会

COI 開示

演題発表内容に関連し、
開示すべきCOI関係にある企業等はありません